

中央地区広報

虹

三月号

第 63 号

担当者

島田夏希

(新宿 2 年)

こんにちは！新宿の島田です。

天気がコロコロ変わりますが、体調管理はできていますか？

さて、もう春ですね…。春は「別れ」の季節。3年生が卒業していきます。ずっと背中を見てきた先輩方との別れはやはり寂しいもの。しかし、春は「出会い」の季節でもあります。新しい人や新しいものと出会えるチャンス！先輩方から学んだことを生かしつつ新たな体制を作っていけると良いですね。

バレンタイン公演終了！

2月9日(日) 新宿高校にて、バレンタイン公演が開催されました。

前日は数十年に一度という大雪に見舞われましたが無事終了。交通網が乱れていたのにもかかわらず、なんと参加辞退校もありませんでした！素晴らしい…。拍手！！

気になる内容は、やはりバレンタインを意識したものが多かったです。恋愛ものが多いのかと思いきや、意外とそうでもなかったですね。たくさん笑って元気が出ました！どの劇も面白かったです。

本当に寒い中お疲れ様でした！

見に来ていただいたお客さんにも感謝です！

中央地区合同公演・中央地区

卒業公演終了！

先日3月31日に舞台芸術学院にて行われた中央地区合同公演、そして中央地区卒業公演が無事に終演しました。合同公演では1・2年生の約50名で一つの作品を作り上げました。卒業公演では中央地区の先輩方の高校生最後の公演でした。たくさんの方々にご来場いただきました。本当にありがとうございました。

春フェスのプログラム決め会議！

4月20日に行われる中央地区春季発表会(春フェス)のプログラム決め会議が行われます。またそのプログラム会議の後に5月に行われるステーション22の第1回ステーション実行委員会が行われます。ステーション実行委員になりたい人はどんどん参加してください。

日時：4月12日(土)

時間：14時から(終わり次第第1回ステーション実行委員会)

場所：都立向丘高校

詳しくはせんだりんくを参照ください。

特集☆学校紹介

今回の学校紹介は、私が所属している新宿高校演劇部！

中央地区では「新宿ワールド」なんて造語があったりなかったり：

そんな独自の世界を作り上げる新宿高校演劇部の部員たちに、私が某芸能人のようにあだ名をつけつつ紹介したいと思います！（※あだ名はあくまでイメージです。実際とは異なるかもしれません。）

○2年生

浅井樹莉「踊るお姉さん」：ダンスピカイチ！部内で一番気が効く。

小幡佳織「時限爆弾」：気づいたときには感情が爆発。誰も予測不可能。

佐々裕美「帰ってきたがんこちゃん」：穏健だが、自分の意見は曲げない。

土久雄峰「笑うセールスマン」：その笑顔が怖い。電子辞書とお友達。

平石玲奈「深海魚」：暗くて静かなところで暮らしたい（らしい）。

最近体調が悪い日の方が多い。

○1年生

國近優希「新宿の癒し系」：癒される。たまに吐く毒はすごい。

富田 新「二代目・土久」：追いつけ追い越せ！

徳田美沙「ジャックナイフ」：ふとした一言が心に突き刺さる。

山口大雪「時を止める少年」：素直でいい子なんですよ？

どうでしたか？こうして見ると大分個性的ですね…。

どうぞ皆様、新宿高校演劇部をこれからもよろしくお願いします！

おすすめ劇団

今回、私がお勧めする劇団は、「柿喰う客」です！

柿喰う客

中屋敷法仁の演出作品を上演する演劇集団。

演劇の虚構性を重視し、「圧倒的なフィクション」の創作を続ける。

虚構性の高い発話法／演技法を追求し、人間存在の本質をシニカルに描く。

その姿勢から「反・現代口語演劇」の旗手として注目を浴びる。

（柿喰う客HPより引用）

オリジナル作品に加え、女性だけでシエイクスピア作品を作る「女体シエイクスピア」なども上演しています。

柿喰う客を初めて見たとの衝撃を今でも覚えています。独特の世界観・身体表現！まさしく圧倒的で、見た後なかなか興奮が冷めませんでした。皆さんもぜひ柿喰う客ワールドを体験してみてください。

編集後記

最近キラキラする後輩達を見ていて老いを感じます（汗）。引退まであと少し、全力で駆け抜けたいものです。虹、楽しく書かせていただきました。原稿をあげるのが締め切りギリギリになってしまっただけです。原稿をあげ

最後に…読んでくれたそのあなた！ありがとうございます！！